

【至峰堂画廊 SHIHODO Gallery】

山本雄教展 - 〇〇〇〇円の芸術家 - 銀座・大阪にて開催

会期： 銀座5月11日(水)～5月25日(水) / 大阪6月10日(金)～6月22日(水)

至峰堂画廊(東京都中央区銀座)は、「山本雄教展 - 〇〇〇〇円の芸術家 -」を、至峰堂画廊 銀座店(会期：5月11日～5月25日)および至峰堂画廊 大阪店(会期：6月10日～6月22日)の2会場で開催いたします。

日本の近代洋画の世界を築いた巨匠たちの作品と、現代とそこに生きる人間像を描く山本雄教が描いた巨匠の肖像を、並べて展示致します。

作品の価値を測る一つの目安である”価格”との相関性を、身近な一円硬貨を用いたフロッターージュで浮き彫りにした新しい試みの展示となります。是非お楽しみ下さい。

良し悪しや上下をつけることが難しい美術作品ですが、こと値段だけでいえばそこには明確な上下があります。現存作家の場合、例えば日本では号〇万円というような形で、まるで各作家の戦闘力かのようにその数字が露わになります。

近代の洋画を主に扱ってこられた至峰堂画廊には、美術館で度々目にするような巨匠たちの作品が飾られています。そして美術館との大きな違いは、その作品に値段がつき販売されているということです。

その中に混ざって私の作品も飾っていただくこともあるのですが、値段を見るとその戦闘力はフリーザに睨まれた地球人のごとく、巨匠のデコピン一発で吹き飛ばしてしまいそうなほど差は歴然です。

そんな既に歴史に名を残している巨匠たちの作品と、これから価値を生み出さんとする私のような作家の作品が、フラットに並び立つのがアートの面白いところです。しかし一方で、その価値の違いが作品の見え方に影響をおよぼすことも事実でしょう。私のような俗っぽい人間は、先に値段を知ってしまうと、途端にその作品の内容をフラットに見ることが難しくなることがあります。

「〇〇〇〇円の芸術家」と題した今展では、巨匠の肖像を元にした一円硬貨のフロッターージュによる私の作品と、モデルにした巨匠たちの作品が会場に並びます。肖像作品のサイズは、巨匠たちの実際の作品価格を元にし、高額であればあるほど画面は大きくなり鮮明に、例えば私のような場合は小さくなり臃げになります。そしてサイズにより自ずと硬貨の使用枚数も変化し、タイトルの「〇〇〇〇円の～」という部分に反映されます。

各作家の作品価値の違いが、そのまま肖像の存在感の違いとなって露わになる空間を、巨匠たちの珠玉の作品と共にぜひお楽しみいただければ幸いです。

山本雄教

【山本雄教展 - 〇〇〇〇円の芸術家 - 概要】

<銀座店>

会期 : 2022年5月11日(水)-25日(水)
会場 : 至峰堂画廊 銀座店
住所 : 東京都中央区銀座6-4-7
 いらか銀座ビル1・2階
営業時間 : 10:00～19:00 日曜休

<大阪店>

会期 : 2022年6月10日(金)-22日(水)
会場 : 至峰堂画廊 大阪店
住所 : 大阪府中央区平野町3-4-9
 旭洋ビル1階
営業時間 : 10:00～18:00 日曜休

<お問い合わせ先>

至峰堂画廊 銀座店 / 広報担当 山岡

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757 <https://www.shihoudou.co.jp>



山本雄教「5874円の芸術家」
麻紙、鉛筆、一円硬貨のフロッターージュ
178.0×132.0cm